

経済統計 練習問題

第19回 物価指数(3)

2010年12月9日

問1 以下の文章を完成させよ。

日本の消費者物価指数は{(a)ラスパイレス指数 (b)パーシェ指数}が用いられている。このタイプの価格指数が採用される理由としては、{(a)ラスパイレス指数 (b)パーシェ指数}が _____
_____ のに対し、 _____
_____ ということがある。

しかし、ラスパイレス指数とパーシェ指数の間にはズレがあり、通常の場合 {(a)ラスパイレス指数 (b)パーシェ指数}の方が大きくなる。ズレは時間とともに大きくなっていく。そのため、5年に1度の基準改定の際に _____ をおこない、指数の妥当性を検証している。

問2 下の表は平成12年基準の消費者物価指数(総合)について年平均の指数をまとめたものである。この表について書かれた文章の空欄を埋め、さらにこの表を完成させよ。ただし、_____には語句、には数値が入る。

	平成12年基準指数	平成17年基準指数
平成12(2000)年	100.0	
平成13(2001)年	99.3	
平成14(2002)年	98.4	
平成15(2003)年	98.1	
平成16(2004)年	98.1	
平成17(2005)年	97.8	100.0

平成12年基準指数を平成17年基準指数に改定する際には、「指数の接続」という手法が用いられる。基準改定の際に、過去の指数は新しいウエイトで再計算するべきであるが、_____ などがあるため、この手法が用いられる。

この手法は、過去の指数の数値を新しい基準年を100とする数値に変換するものである。ラスパイレス指数は _____ を満たさないため、理論的には問題のある手法である。

平成12年から16年までの指数の値を、平成17年を100とする数値に変換するには、各年のデータを

で割って100倍することによって求められる。

平成16年であれば、 ÷ × 100 = が平成17年を100とする数値である。他の年も同様の方法で求めることができる。